

情報機器を活用した総合的な学習の時間

大寄小学校

1 単元名 「卒業研究をしよう」 第6学年（総合的な学習の時間）

2 単元の目標

今までの学習を振り返ったり、自分の将来のことを考えたりする中で、自分自身で興味関心のある課題を見つけることができる。

課題解決に向かって、身につけた考え方や学び方を生かして調べることができる。

3 情報機器活用の意図

自分自身で興味関心のある課題を見つけ、今まで身につけた考え方や学び方を生かして調べる単元である。これまでに、児童はいろいろな情報機器を活用して調べ学習をしてきているので、自分に合った機器や自分の課題解決に適した機器を選んで調べ学習を進められるようにしたい。

4 成果と課題

児童は、インターネットを活用して情報を収集し、取捨選択しながら、課題解決に向けてじっくり取り組んでいた。

現地調査や実体験の際には、記録用としてデジタルカメラを活用するということが当然のように考えられるようになった。手軽に記録したり表現する道具として、児童の活動になくてはならないものになっている。

間接体験だけでなく現地調査や実体験に取り組んだ児童がいた。こうした活動は、情報教育を進める上でとても意義のあることである。今後も、できる限り直接体験の活動に取り組むよう支援していきたい。

調べ学習は、ともするとインターネット一辺倒になりがちだったので、他の情報収集方法や実体験などの事前準備をする時間をもちたい。

5 実践の概要

段階	時間数	活動内容	支援()と評価()	情報機器
ふ れ る	4	卒業研究について話を聞く。 自分の今までの学習を振り返ったり将来のことを考えたりしながら、研究してみたいことをメモにとる。	今までの学習を想起させ、身につけた考え方や学び方を生かして活動していくことを確認する。 疑問に思っていること、深めてみたいこと、将来の夢など、自分自身の思いや考えをじっくり考えさせる。 卒業研究に向け、興味関心がもてたか。	インターネット

つかむ	4 前時までのメモや友達との話し合いをもとに課題を決める。 課題解決にむけて学習計画を立てる。	自分の疑問や将来のことなど、また、友達との話し合いから、自分の調べたいことを見つけられようにする。 設定理由のはっきりした課題が決められたか。 同じような課題をもった者が一緒に調べてもよいが、まとめるのは一人一人で行き組むこととする。 実行可能な計画が立てられたか。	
調べ	6 課題解決にむけて調べ学習を進める。 ・インターネット ・本 ・現地調査 ・インタビュー ・アンケート ・図書館などの公共施設 ・実体験	校外での活動は安全面の指導をする。 取材の際には、気持ちよい対応の仕方を練習してから行動する。 情報機器の活用を図る。 新しい課題については、再度調べ学習を進める。 自分の課題を解決するために調べられたか。	インターネット 電話 ファックス デジタルカメラ パソコン
まとめ	7 調べたことや取材したことをまとめる。	内容や自分の思いによって、工夫してまとめるようにする。 調べたことを整理してまとめることができたか。	
表現	3 一人一人発表する。 学習を振り返って感想をまとめる。	自分の調べたことや思いをうまく伝えられるように発表する。 調べたことを工夫して発表できたか。 これまでの活動を通して自分の考えを深めることになった体験を中心に感想をまとめる。	



図書室のパソコンで検索



電話で聞き取り調査